

れい わ ねん がつ にち げつ ぜんこうちようかいこうちようこう わ
令和7年1月27日（月）全校朝会校長講話
おうだん ほ どう こころ こうへん
横断歩道で心がけることは（後編）

せんしゅう こうつうあんぜん はなし おうだん ほ どう わた みぎ み ひだり
先週は、交通安全のお話をしました。横断歩道を渡るとき、「右を見て、左を
み いち ど みぎ み みぎ さき たし り ゆう かんが
見て、もう一度右を見て。」と、右から先に確かめる理由について考えてみよう
というものでした。

にほん くるま どうろ ひだりがわ はし おう
さて、日本では、車は道路の左側を走ることになっています。そうすると、横
だん ほ どう わた ひと じぶん め まえ とお す くるま かなら みぎがわ
断歩道を渡る人にとって、自分のすぐ目の前を通り過ぎる車は、必ず右側から
く
来ることになります。だから、「右、左、右」と確かめるとよい、ということになります。
す。

はなし つづ じつ ひだり く くるま こうつう じ こ
ところが、この話には続きがあります。実は、左から来る車との交通事故は、
みぎ く くるま こうつう じ こ やく ばい おお ちょう さ けっ か
右から来る車との交通事故より、約2倍も多いという調査結果があるのです。
ある ひと ほ こうしゃ い くるま うんてん ひと ほ こうしゃ
歩く人のことを「歩行者」と言います。車を運転している人からは、歩行者がい
るのかがよく見えないことがあり、事故を起こしてしまうことがあるのです。

こうつうひょうご あお くるま み
交通標語に、「青だけど 車は わたしを 見てるかな」というものがあります。
おうだん ほ どう しんごう き くるま うんてん ひと み たし
横断歩道に信号機があっても、車を運転している人のことをよく見て確かめて
わた しんごう き おうだん ほ どう おな み
から渡るようにしましょう。また、信号機のない横断歩道でも、同じように、よく見
るようにします。「手を上げて 横断歩道を 渡りましょう」という交通標語があり
ます。歩行者がいることを、車を運転している人にしっかりと伝えて、交通事故
ほ こうしゃ くるま うんてん ひと つた こうつう じ こ
を防ぐように心がけてほしいと願っています。校長先生のお話、終わります。
ふせ こころ ねが こうちようせんせい はなし お

【参考文献】信号機のない横断歩道における交通事故の分析結果について～過去10年間
（平成23年から令和2年）の分析～（鳥取県・とりネット／令和3年9月）